

①



姿勢を守る主役は「背もたれ」

良い姿勢で座るために最も重要なのは背もたれ。セビントの背もたれは背骨のS字カーブを保持し体の負担を和らげ、骨盤までしっかり支えます。3つの曲面を組み合わせた頼りになる背もたれです。

②

姿勢を守るために開発された複合的な曲線。

③

◀ 足の裏がつくこと

実は足の裏全体が床についていないと、太ももの裏を圧迫して血流が悪くなってしまいます。同時に噛む力が弱くなったり、集中力を欠いたり、座り疲れの原因にも。

足の裏がつくことは、姿勢にとっても重要。セビントは座面の高さを二種類用意し、さらに脚カット(有償)によりご希望の高さへの対応もいたします。



その椅子で姿勢を守る。という考え方。

椅子は「座る」という目的とは別に、もうひとつの目的を持っているかもしれません。それが「椅子によって姿勢を守る」という考え方。

姿勢が気になる、姿勢が悪い。そんな悩みを抱えている方も多いはず。

「良い姿勢で食事がしたい」そんな当たり前で身近な声から、セビントは誕生しました。食事時の良くない姿勢は誤嚥などの問題を引き起こします。お腹を圧迫してしまうのも良くありません。

セビントの背骨を理想のS字カーブへと導く背もたれは、食事時の良い姿勢をやさしく守ってくれます。しっかりと足の裏がつく安定した姿勢をとれるように、シートの高さを日本人の体型を基に43cmと41cmの2種類からお選びいただけるよう設定しました。

「いつも、ずっと、健康で良い姿勢を保ちたい」

それはごく自然な願い。少しでも椅子がその助けになるように。

その椅子で姿勢を守る。豊橋木工のこれからの椅子の考え方です。